

農村振興局

調査計画の仕事紹介



農村振興局の取組

■ 農業用水の確保や農地の整備などによる農業生産性の向上

農業用水を水田で利用するには、堰^{せき}（頭首工）や水路などの施設を利用し、それぞれのは場に公平に配分することが不可欠です。

農村振興局では、このような農業用水の供給に必要な施設の整備・保全に加え、営農条件を改善するため水田・畑の整備や、農産物を運搬するための農業用道路の整備など、**土地改良事業（農業農村整備事業）**により**食料生産基盤を整備し、農業生産性を向上**させる取組を進めています。

■ 地域の資源を活用した農村地域の活性化

また、農村は、食料を生産する農業が営まれる場であるとともに、農業者を含めた地域住民の生活の場でもあり、長い年月と様々な人間活動を通じて多様な文化や二次的自然が形作られています。

そこからは、人間の生命の維持に欠くことのできない食料が安定的に供給されるだけでなく、国民に対し、国土や生物多様性の保全、美しく安らぎを与える空間となる景観の形成、文化の伝承、情操教育といった多岐にわたる恩恵（**農村のもつ地域資源**）をもたらしています。

これらの地域の資源を保全・活用しながら、**農村地域の活性化と振興を図る取組**を進めています。

河川からの取水施設
（頭首工）



畑地かんがい
（スプリンクラー）



ほ場の大区画化

生産基盤の整備・保全による生産性向上

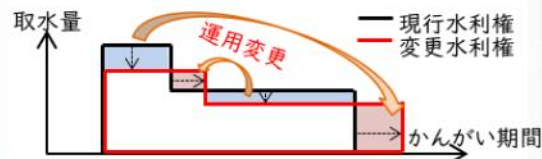


地域資源を活用した地域の活性化

～農業用水の供給施設整備のイメージと農業生産性向上の例～

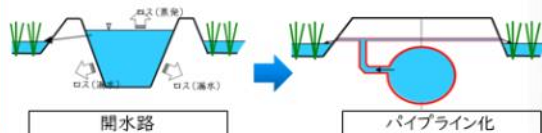
ダム・ため池等の有効活用

- ・営農形態の変化に合わせてかんがい期間と取水量を見直し



パイプライン化

- ・用水需要に応じた水利用が可能
- ・配水ロスを少なくして水資源を有効に活用



調整池の設置

- ・営農者の水需要に合わせて弾力的に用水を供給できるよう、調整池を設置して、水利用の自由度を向上



ICT等の活用

- ・用水の見回りや施設の操作など、人力に頼ってきた作業にICT等を導入して、管理負担の軽減、水利用の効率化を実現



ほ場の用水状況のリアルタイム確認

施設整備による効果

弾力的な水利用により安定的で高品質な農業生産の実現

用水の管理負担の軽減により6次産業化等の推進

きめ細かな水利用により、地域が求める新たな営農が展開



新たな栽培技術の導入
(乾田直播)



水田の畑地化
(キャベツの栽培)



高収益作物の導入
(ブランド化)



6次産業化の推進
(農産加工品の販売)

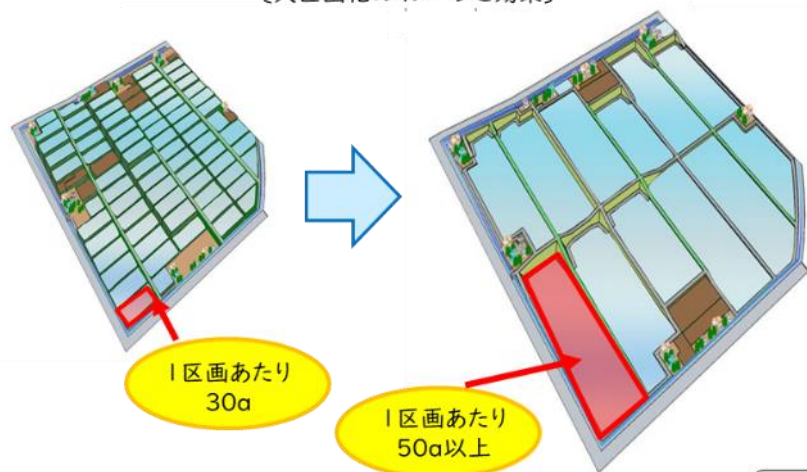
調査計画職員の仕事

施設の整備を契機とした新たな営農を展開するための計画づくり、その実現に向けた地域の取組を支援します。

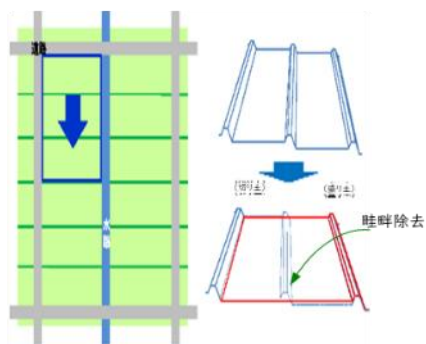


～農地整備のイメージと農業生産性向上の例～

○水田の大区画化による米生産コストの大幅削減
【大区画化のイメージと効果】



けいはん
【畦畔除去による大区画化
(簡易整備)のイメージ】



(資料:農村振興局調べ)

注:平成25年度完了地区(21地区(標準区画13地区、大区画8地区)の担い手聴取調査
※日本再興戦略における担い手の米生産コスト目標(平成35年)

北海道士別市 国営農地再編整備事業(上士別地区)



【ほ場整備後(4枚 5.9ha/枚)】

OGPSを活用した自動操舵トラクター、田植え機を導入



無人1台、有人1台の計2台が協調して作業を行うシステムの試験的な導入



これまで3人掛かり
だった作業が1人です
むように

従来は、作業
スペースを確保
できないため運
転者を挟み2人
掛で苗を補給。

自動操舵システムを活用した田植え作業

調査計画職員の仕事

農地の整備により生じる余剰労力や節減経費等を活用した**新たな営農を展開**するための**計画づくり**、その実現に向けた**地域の取組を支援**します。

農業・農村は、国民に食料を安定的に供給する場であるとともに、国土の保全や水源のかん養、伝統文化の継承などの多様な地域資源があり、こうした資源の役割が十分に発揮されるよう、農村の振興を図ることが重要です。

⇒食料供給、6次産業化、
ブランド化(観光資源)



⇒文化繼承、地域活
性化、觀光資源



⇒都市農村交流、担
手の確保、伝統文化
の保存



農家(家屋)
⇒観光資源(農泊等)、
職場(テレワーク)



再生可能エネルギー（畜産廃棄物や森林資源等の有機性資源、水力、風力、太陽光）
⇒循環型社会の形成、所得の確保



⇒ 食料供給、水循環の形成、生態系保全



⇒食料供給、国土保全、
観光資源(体験農園)



農村景観・環境（棚田等）
⇒観光資源（グリーンツーリズム等）、生態系保全



～農村の地域活性化のための様々な取組の例～

- 地域の農林水産業、風景・文化など農村のもつ地域資源を活用して、自治体や民間企業、地域の方々、NPOなど様々なプレイヤーが連携し、地域活性化に取り組んでいます。
- 施策立案・実施を通じて、地域の魅力を発信し、地域と地域、人と人々を繋ぐハブの役割を担います。



棚田百選
郷土料理百選



←ため池マン
地域おこし協力隊



鳥獣被害対策
ジビエ利活用



農業遺産
農泊
インバウンド対応



6次産業化
地域商社
被災地復興



農業農村整備
多面的機能
防災・減災



都市農業
農福連携
ディスカバー
農山漁村の宝

